

一般社団法人化後、初の新年パーティー開催

「ふるさと」全員合唱で締めくくり

（一社）日本不動産経営協会

1月9日、日本不動産経営協会（通称・シヤルマ）は、都内ホテルで新年パーティーを行った。会員66名、ゲスト4名の計70



▶毎年恒例の集大忘し真

名が参加した。

昨年11月の一般社団法人化後、新体制で行う初めての新年パーティーとなった。

ゲストとして招かれたのは、パーティー前の定例勉強会で講師を務めた渡邊浩滋税理士・司法書士をはじめ、シティユーワ法律事務所の田中秀幸弁護士、アセットビルド猪俣淳社長、家主と地主」編集長の永井ゆかり。

執行役員に新たに3人が加わったことから企画も趣向をこらした。6つに分かれたグループ対抗

によるジャンケン大会や、会員の菅完治オーナーによるウクレレ演奏や、岡村剛行オーナーによるソロ歌唱、その他、フルート演奏などが行われ、会は大いに盛り上がった。

会の最後に「ふるさと」を全員合唱した。代表理事の宮坂雅雄オーナーは「会員は現在95名おります。今後、人数を増やすことよりも、会員同士の交流がより一層活発になるような会にしていきたい」と話した。